

## 公益財団法人小山台教育財団 平成 27 年度事業報告 (平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで)

公益財団法人小山台教育財団は、平成 27 年度において国際交流事業として新たに海外チャレンジ支援制度を発足させた。また、財務面においては当財団事業の充実を図るため寄附金募集を実施し、今後の事業推進に向けた基盤強化が進展した。事業別の実施状況は以下記載の通り。

### I. 国際交流事業（公益目的事業）

国際交流を通じて青少年の国際相互理解教育および異文化体験を行うとともに、真に日本を理解する能力を育てるために語学研修派遣、交換留学及び海外チャレンジ支援を実施した。

#### 1. 英国語学研修派遣

英国ボーンマス市に派遣し、ホームステイをしながらキングス・カレッジで世界各国の青少年とともに語学研修を受講するプログラム。派遣時高校 1 年生はサマーバケーションエキストラコース、高校 2 年生以上はインテンシブコースの研修を受講した。大学生リーダー 1 名が同行し、現地におけるとりまとめの役割を果たした。

(1) 参加者：品川区にある都立高等学校生徒及びその卒業生である大学生、合計 20 名。

(2) 期間：平成 27 年 8 月 2 日～8 月 23 日（22 日間）。

#### 2. 英国交換留学派遣

英国・ブリッドポート市における N P O 法人 Bridport Young Persons' Action Trust と連携して、英国に派遣と受入を隔年に行うもので、平成 27 年度は英国派遣の年にあたり、英国人家庭でホームステイをしながら青少年及び家族との交流をおこなった。大学生リーダー 1 名及び財団関係者 1 名が同行し、現地におけるとりまとめの役割を果たした。

(1) 参加者：品川区にある都立高等学校生徒及びその卒業生である大学生 8 名並びに財団関係者 1 名、合計 9 名。

(2) 期間：平成 27 年 8 月 2 日～8 月 23 日（22 日間）。

#### 3. ドイツ交換留学受入

ドイツ・ベルリン市の私立カニジウスコレク・ギムナジウム校との連携により、

学生のドイツ派遣と日本受入を原則として隔年に行うもので、平成 27 年度は日本受入れを実施した。前年度ドイツに交換留学派遣した日本側生徒の家庭がホストファミリーとしてドイツからの学生を受入れ、剣道・茶道等クラブ活動の体験及び関西旅行等を通じて、日独学生の相互交流・理解を推進した。

(1) 参加者：カニジウス校生徒 7 名及び引率者 1 名、合計 8 名。

(2) 期間：平成 27 年 7 月 30 日～8 月 19 日 (21 日間)。

#### 4. 台湾交換留学派遣

日本側学生を台湾における連携先である環球科技大学に毎年派遣している。台湾側学生と一緒に大学における講義および体験学習を受講し、現地の歴史・文化に触れるとともに国際交流を推進した。大学生リーダー 1 名及び財団関係者 1 名が同行し、現地におけるとりまとめの役割を果たした。

(1) 参加者：品川区にある都立高等学校の卒業生である大学生 8 名及び財団関係者 1 名、合計 9 名。

(2) 期間：平成 28 年 3 月 5 日～12 日 (8 日間)。

#### 5. 海外チャレンジ支援

海外における留学・研修・専門的研究・インターンシップ・ボランティア・芸術・スポーツ等の活動を通じて国際的視野に立脚した教育機会ないし目的達成のための研鑽に必要となる費用の一部を助成するプログラム。助成対象者は品川区にある都立高等学校の卒業生である大学生。平成 27 年度は制度設計等の準備を開始し、平成 28 年度における募集開始を予定している。

## II. 奨学育英事業

### 1. 在品川区都立高校向け奨学育英事業(公益目的事業)

品川区にある都立高等学校に在学する就学意欲のある有為な生徒で、経済的理由で学業が困難なものに対して奨学金の給付を実施した。

(1) 一般奨学金 (24 名)

①対象：高校 2 年生以上の生徒。

②給付額：4 月から翌年 1 月まで月額 1 万 5 千円 (1 人、年間 15 万円)。

(2) 臨時奨学金 (7 名)

①対象：高校 1 年生若しくは家庭状況の急変等で緊急に援助が必要になった生徒。

②給付額：9 月から翌年 1 月まで月額 1 万 5 千円 (1 人、年間 7 万 5 千円)。

## 2. 都立千歳丘高校向け奨学育英事業(相互扶助等事業)

都立千歳丘高校関連財団丘和会から当財団が受領した寄付金を原資として、千歳丘高校生徒に対する育英奨学金として特別奨学金を支給する制度。

特別奨学金の対象となる奨学生を募集したが応募者がなく、支給実績なし。

## Ⅲ. 社会教育事業(公益目的事業)

社会公共の教育及び文化の発展に寄与するため、地域住民等に対する生涯学習の推進及び文化の向上に関する事業を実施した。

### 1. 公開文化講座

地域住民等に対する公開文化講座を実施した。また、近隣住民に対して音楽を通じた憩いの場を提供するランチタイムコンサートの催しを開始した。

(1) 募集対象 主として品川区、大田区、目黒区の住民。

(2) 開催実績：公開文化講座8回、ランチタイムコンサート11回。

(3) 講座内容：文化、健康、音楽等をテーマとする講座およびコンサート。

### 2. 寺子屋小山台

企業の第一線で活躍するビジネスマンを対象として日本社会の中核を担う人材を育成するためのリーダー養成講座を実施した。

(1) 募集対象：品川区にある都立高等学校の卒業生を中心とする社会人。

(2) 開催実績：9回。

(3) 講座内容：政治・経済・国際関係等をテーマとする講義および討論。

### 3. 中学校のクラブ活動の支援

小山台高等学校が中学校の課外クラブを対象として行う技術等の向上のための講習会の開催を支援した。

(1) 受講対象：品川区、大田区、目黒区の中学校課外クラブ部員。

(2) 開催実績：8回。

(3) 活動内容：硬式・ソフトテニス技術講習会、剣道技術講習会、バスケットボール技術講習会、バドミントン技術講習会、管打楽器講習会。

### 4. 暮らしに役立つ講座

社会保険労務士、行政書士、介護福祉士、税理士を講師として日々の生活に役立つテーマを取り上げて解説する講座を実施した。

(1) 募集対象：品川区にある都立高等学校生徒の保護者ならびに近隣住民。

(2) 開催実績：5回。

(3) 講座内容：遺言・相続、成年後見、介護及び税務に関する解説・質疑応答。

#### IV. 学校教育事業（相互扶助等事業）

都立小山台高等学校の教育環境の整備を図ること並びに小山台高等学校生徒の健全な心身の育成を増進するために、小山台高等学校に対して下記支援活動を実施した。

1. 進路指導・学力向上助成。
2. 学校行事・班活動助成。
3. 学校広報助成。
4. 定時制助成

#### V. 会館運営事業（相互扶助等事業）

小山台会館の会議室・ホールを財団内の打合せに加えて教育・福祉増進・文化の向上等に資する会議・会合・懇親の会場として運営した。

年間利用実績：1,829件。

#### VI. 財務

当財団の事業の更なる発展を期して、次世代を担う高校生・大学生の育成を主眼とする特定寄附金及び使途の指定のない一般寄附金の募集を開始したところ多数の方々からの寄附金が寄せられ、当財団事業を支える財務基盤が強化された。

以上

平成 27 年度事業報告の附属明細表  
(平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月)

I. 国際交流事業

1. 英国語学研修派遣 20 名

	男子	女子	合 計
高校生	5	11	16
大学生	2	2	4
合 計	7	13	20

2. 英国交換留学派遣 8 名

	男子	女子	合 計
高校生	3	2	5
大学生	1	2	3
合 計	4	4	8

3. ドイツ交換留学受入 7 名

	男子	女子	合計
高校生	1	5	6
大学生	0	1	1
合 計	1	6	7

4. 台湾交換留学派遣 8 名

	男子	女子	合 計
大学生	3	5	8
合 計	3	5	8

5. 海外チャレンジ支援

当年度は制度設計期間にあたり助成実績なし。

II. 奨学育英事業

1. 一般奨学金

高校	男子	女子	合 計
小山台	4	5	9

大崎	4	6	10
八潮	1	4	5
合 計	9	15	24

## 2. 臨時奨学金

高校	男子	女子	合 計
小山台	2	2	4
大崎	0	2	2
八潮	0	1	1
合 計	2	5	7

## 3. 特別奨学金

高校	男子	女子	合計
千歳丘	0	0	0

## Ⅲ. 社会教育事業

### 1. 公開文化講座(場所：小山台会館)

講師	題目	来場者数
三浦 於菟	東洋医学の魅力	78
大石 学	「花燃ゆ」とその時代	86
夏野 苺	写真家と魔法使い	47
牧野 義司	アジアが今面白い	59
石塚 静夫	生活デザインとしての書	37
村松 喜久則	民謡は心のスポーツ	56
小暮 幹雄	結びの歴史と文化	48
大塚 修造	レクチャーコンサート	82
	合計	493

### ランチタイムコンサート(場所：小山台会館)

月	出演者名	演奏	来場者数 (概算)
4月	糸数知 沢田千秋	ソプラノ (沖縄県立芸術大学卒)	60
5月	梅川侑里恵	ピアノ (京都市立芸術大学生)	40
6月	石丸瞳 柘植彩音 布施紀緒 原香奈恵 田辺純一	ハープ 東京芸術大学生)	60
7月	守山友季恵 山口奈々	ソプラノ (国立音楽大学生)	50

	沢田千秋		
8月	浅原由香 反保沙季	オーボエ (東京芸術大学生)	45
9月	村岡苑子 川崎 龍	チェロ (東京芸術大学卒)	45
10月	佐々木華 浅原由香 赤木智美 小山桜 草野雅行	木管五重奏 (東京芸術大学生)	40
11月	市川響 高久智子	クラリネット (国立音楽大学生)	35
12月	土田彩花 飯田弥来 南澤佳代子	ソプラノ (国立音楽学卒)	45
2月	岩本美和子 富山賢和	ピアノ&オカリナ (大妻女子大学卒)	60
3月	池田 菜見子 金澤茉莉加 菊岡 万智 森山 豊	フルートアンサンブル (国立音楽大学生)	40
	合計		520

## 2. 寺子屋小山台(場所:小山台会館)

	講師	内容	参加者数
プレ	福川 伸次	受講生にのぞむこと	15
	藤井 浩行	「自分が源泉」というあり方	
1	大澤 佳雄	リーダーシップ論	12
2	北野 尚宏	国際貢献	12
3	奥住 直明	会社とは何か	11
4	川上 高志	現代社会の問題	11
5	塩澤 賢一	ビール業界について	12
6	朱 建榮	中国から見た日本	10
7	福川 伸次	これからの日本	13
8		受講生発表	12
	合計		108

## 3. 中学校クラブ活動支援

活動内容	日付	参加者数
硬式テニス技術講習会	11月3日	9
	11月7日	15
ソフトテニス技術講習会	1月30日	33
剣道技術講習会	10月11日	57

	11月1日	41
バスケットボール技術講習会	10月1日	150
バドミントン技術講習会	12月28日	21
管打楽器講習会	2月8日	463
合計		789

#### 4. 暮らしに役立つ講座（場所：小山台会館）

	講座名	講師	来場者数
1	相続の仕組み 遺言書作成の方法	宅地建物取引士 金子琢哉 社労士 行政書士 喜多村郁子	47
2	成年後見制度のしくみ 利用の仕方	社会福祉士 関 孝和 社労士 行政書士 喜多村郁子	36
3	暮らしの中の税金～所得税編～	税理士 原田 文香	30
4	介護施設の種類と選択のポイント お墓の継承、その他	介護福祉士 増田 哲 社労士 行政書士 喜多村郁子	44
5	暮らしの中の税金～資産税編～	税理士 原田 文香	40
	合計		197

#### IV. 学校教育事業

分類	事業名
進路指導・学力向上	キャリア教育推進
	サテライト講習
	Web講習
	小論文特別講習
	講習教材費補助他
	2学年勉強合宿補助
	大学入試過去問題集
	理科講義実験
学校行事・班活動補助	合唱コンクール
	生徒会運動会
	運動会団席設置
	運動会医師等謝礼
	マラソン大会
	夏季合宿コーチ経費助成

	ブラスバンド班演奏会
	スポーツトレーナー講習会
	器械体操コーチ指導費
	E S S 班活動補助
学校広報	学校案内パンフレット作成費
	学校案内ポスター作成費
	学校広報活動費
定時制	実習教材援助費
	キャリア教室謝金
	教科活動特別助成
	人権教育推進
	健康教育推進
	授業講師・班活コーチ費用助成
	学校行事助成費
	生徒褒賞費
	班活動助成費
	学習・生活相談支援

V. 会館運営事業  
会館利用状況

施設名	収容人数	年間利用件数
203 会議室	20	124
204 会議室	20	258
205 会議室	55	207
207 音楽室	45	315
301 会議室	8	120
302 会議室	8	176
303 中ホール	50	193
304 大ホール	130	281
B01 談話室	40	144
10A 多目的ホール	—	11
合計	376	1,829

以上